

メロン新品種'おくに''おくに春 1'

中川善紀、春木和久、北川優、上野良一、常松定信

摘要

1. 栽培が容易で外観、肉質とも優れ、耐病性があるハウス栽培用の品種を育成するため、1978 年より育種を開始し 1993 年までに'おくに''おくに春 1'を育成した。

2. 'おくに'は'メロン中間母本農 2 号'を母親とし、'島系 No. 11'、を父親として交配をした一代雑種である。その特性は草勢がやや強く、着果も安定している。果重は 1,600 から 1,800g で果形はやや長球であるが、ネットの発現は良好である。果肉色は白から微緑である。糖度(Brix)は 15 から 16%で、芳香がある。果皮色は成熟すると黄変し、熟期は交配後 50 から 55 日である。日持ちは盛夏期において 10 日程度である。うどんこ病、つる割病に対して抵抗性がある。

3. 'おくに春 1'は'メロン中間母本農 2 号'を母親とし、'45-8'を父親として交配した一代雑種である。その特性は草勢がやや強く、着果も安定して。果重は 1,500 から 1,700g である。果形はほぼ球形で、ネットの発現は極めてよい。果肉色は白から微緑で糖度(Brix)は 14 から 15%、香りは強い。果皮色は成熟すると黄変し、熟期は交配後 50 から 55 日である。日持ちは盛夏期において 7 日程度である。うどんこ病、つる割病に対して抵抗性がある。